

Press Release

2018 年 12 月 25 日

株式会社データ・アプリケーション

エンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex」の最新版を発売 ～全銀 EDI システム(ZEDI)連携機能を実装、EDI サービスに続々採用予定～

株式会社データ・アプリケーション(本社:東京都中央区、代表取締役社長:武田 好修、略称:DAL、JASDAQ:3848)は、既存の業務アプリケーション資産を生かしつつ、単一ソフトウェアで、セキュアかつ可用性の高いデータ連携基盤を容易に構築するエンタープライズ・データ連携基盤「ACMS Apex(エーシーエム エス エイペックス)」の最新版 バージョン 1.3 を、2018 年 12 月 28 日より販売開始します。

最新版では、金融 EDI の高度化に向け、2018 年 12 月 25 日から稼働するプラットフォーム「全銀 EDI システム(以下、ZEDI)」*と連携する ZEDI 連携機能を実装しました。また、IBM MQ アダプタを提供するなど機能を拡張しました。これにより、企業の ZEDI 対応を容易にし、ワンパッケージで金融 EDI と商流 EDI を統合管理できることから、EDI 業務の一層の効率化、運用コストの削減を図ります。

また、「ACMS Apex」は、企業のデータ連携だけでなく、グループ企業間や SaaS のデータ連携基盤として、リソースの共有や配分、運用を効率化するテナント機能を実装しており、SaaS 提供企業を中心に採用が進んでいます。今回、その高い信頼性や可用性、ならびに拡張性をご評価いただき、最新版で提供する ZEDI 連携機能にて、以下の EDI サービスが ZEDI 対応を予定しています。

- TIS 株式会社様 SaaS 型 EDI サービス「TEDIOS-Ⅱ」
https://www.tis.jp/service_solution/edi_saas/
- 株式会社オージス総研様 EDI アウトソーシングサービス
https://www.ogis-ri.co.jp/solution/1267615_6793.html

「ACMS Apex」バージョン 1.3 の主な新機能は以下の通りです。

1. データ連携機能の拡張

・ZEDI 連携機能を実装

ZEDI 対応に必要な XML 電文の作成・変換機能と通信プロトコル JX 手順、企業認証用のクライアント証明書の取得・更新機能を実装しました。

・IBM MQ アダプタの提供

IBM MQ アダプタにより、IBM MQ アプリケーション間との非同期的なメッセージ通信を実現します。

2. 新たな稼働環境

- ・新たなクラウドプラットフォームをサポート
 - Microsoft Azure
- ・管理 DB として新たなデータベースをサポート
 - Microsoft SQL Server 2017
 - Amazon RDS for Oracle
 - Amazon RDS for MySQL
- ・オルタナート(代替)サーバとして新たなサポート
 - Microsoft Windows Sever

※Oracle JDK 8 の利用が前提になります。
- ・マルチブラウザでの運用管理用に新たなブラウザをサポート
 - Mozilla Firefox

3. 通信機能を強化

通信プロトコル ebXML MS 2.0 において、データ改ざんを防止するためのハッシュ関数である SHA-2 に対応しました。

DAL は、高い信頼性と可用性を持った「ACMS Apex」を ACMS シリーズのフラグシップ製品として、あらゆる業界の企業はもちろんグループ企業間、SaaS 提供企業のデータ連携市場を対象に、ビジネスを推進していきます。

以上

◆ACMS Apex について

◇Web ページ: <http://www.dal.co.jp/products/di/apex/outline.html>

◇販売経路: DAL のビジネス・パートナー 72 社 (<http://www.dal.co.jp/partner/>) を通じて販売

◇販売価格: 60 万円～(基本機能)

※ACMS Apex は、スタンダードエディション、エンタープライズエディション、プロバイダエディションの 3 つを用意しています。今回の ZEDI 連携機能、IBM MQ アダプタは、エンタープライズエディション、プロバイダエディションのオプションです。詳細はお問い合わせください。

※全銀 EDI システム(ZEDI)について

日本の企業間送金に係る 3 業務(総合振込、振込入金通知、入出金取引明細)の電文を、固定長から XML 電文に移行し、金融 EDI の高度化に向けた取り組みを進めていくためのプラットフォームです。

<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>

【株式会社データ・アプリケーション(DAL)について】

DAL は、1992 年に UNIX 向けの製品をリリースして以来、EDI(電子データ交換)を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS(Advanced Communication Management System)シリーズ」を提供してきました。「ACMS シリーズ」は、国内の EDI パッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに 2,200 社 10,000 サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】<https://www.dal.co.jp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel:03-5640-1437	Tel:03-5640-8544
Fax:03-5640-8541	Fax:03-5640-8541
E-Mail:pr@dal.co.jp	E-Mail:sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。